



受動喫煙の影響及び本県を取り巻く状況について 【資料2】



1 受動喫煙の影響等

喫煙は肺がんをはじめとする種々のがんのリスク因子となり、受動喫煙は肺がんや脳血管疾患等に加え、乳幼児の喘息や乳幼児突然死症候群の原因となるなど、**受動喫煙を受けなければ**
***約15,000人が、これらの疾患で死亡せずに済んだ**と推計されている。

肺がん
(1.3倍)

脳卒中
(1.3倍)

虚血性心疾患
(1.2倍)

乳幼児突然死症候群 (SIDS) (4.7倍)

() …受動喫煙を受けている者が、受けていない者に比べ、病気になるリスクが何倍か

出典 「喫煙と健康 喫煙の健康影響に関する検討会報告書」、
 国立がん研究センターがん情報サービス

受動喫煙による年間死亡数推計値

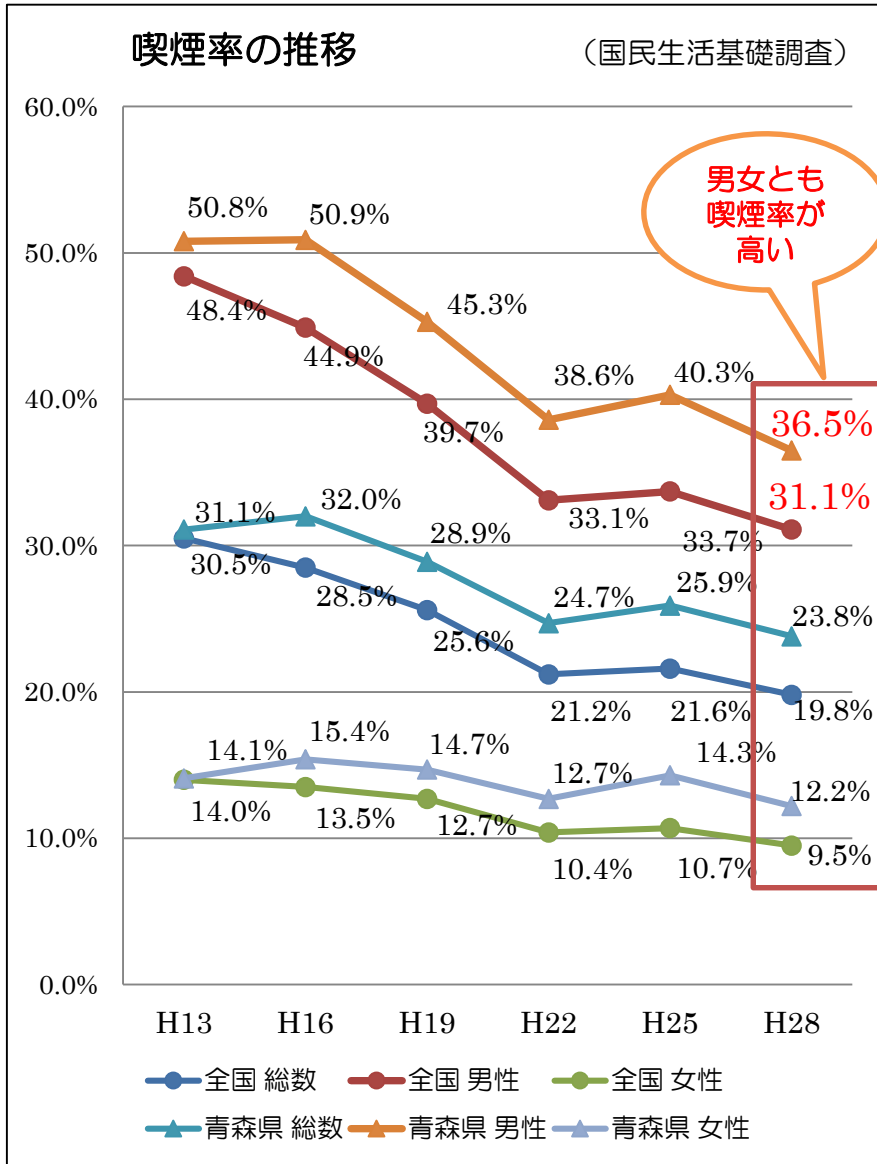
	男性	女性
肺がん	627	1,857
虚血性心疾患	1,571	2,888
脳卒中	2,325	5,689
小計	4,523	10,434
乳幼児突然死症候群 (SIDS)	73	
合計	15,030 (人)	

※各疾患の死亡数の何%が受動喫煙によるものかを計算し、その割合を2014年の死亡数に乘じ算出した。

出典 厚生労働科学研究費補助金循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業「たばこ対策の健康影響および経済影響の包括的評価に関する研究」



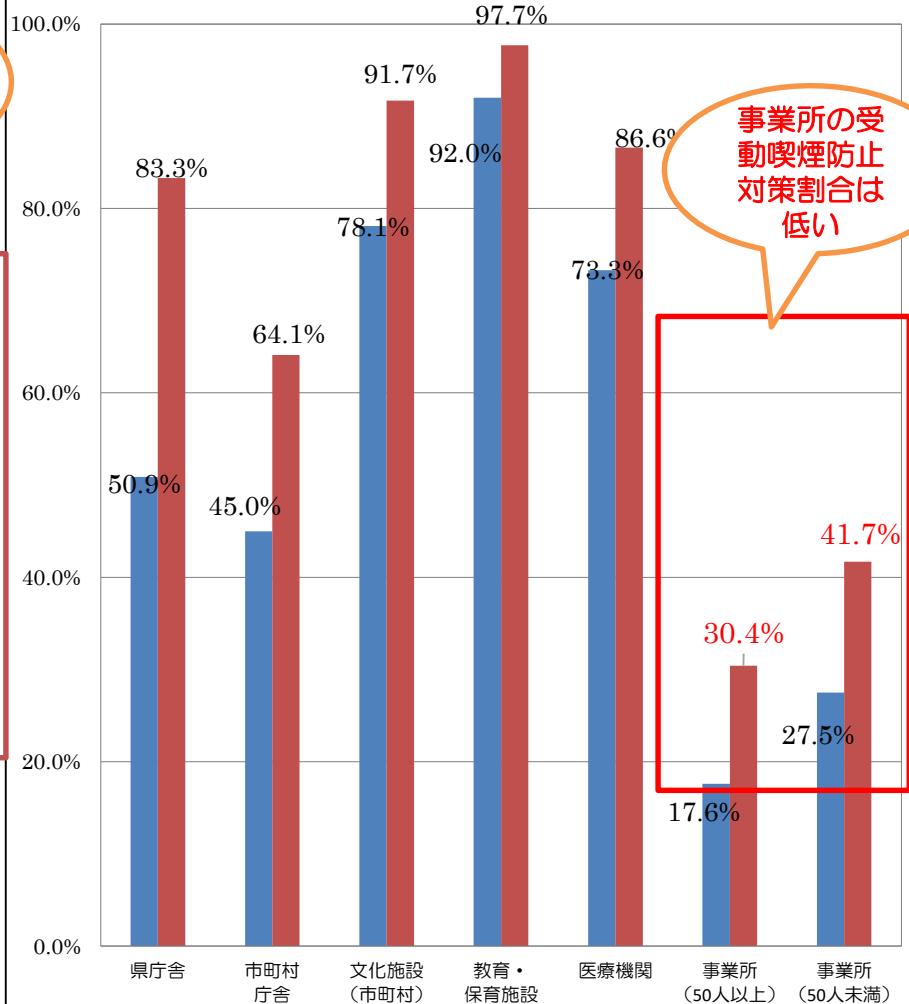
2 本県の喫煙率・受動喫煙



○青森県受動喫煙防止実施状況調査

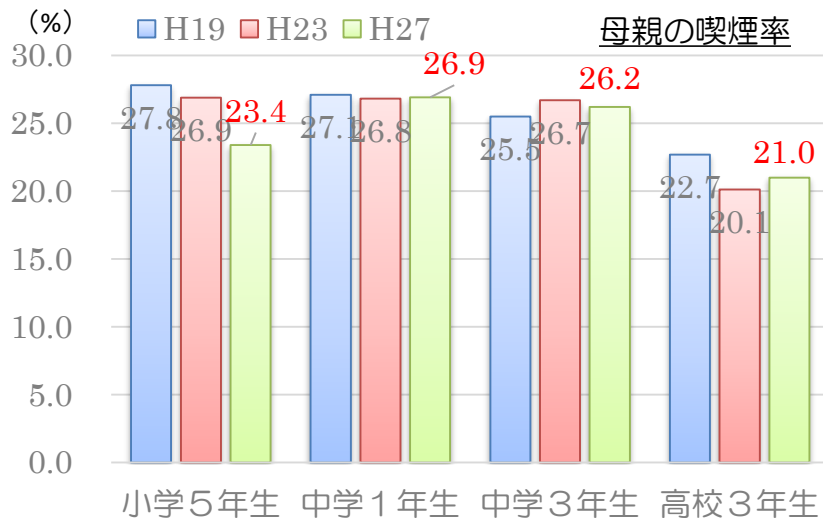
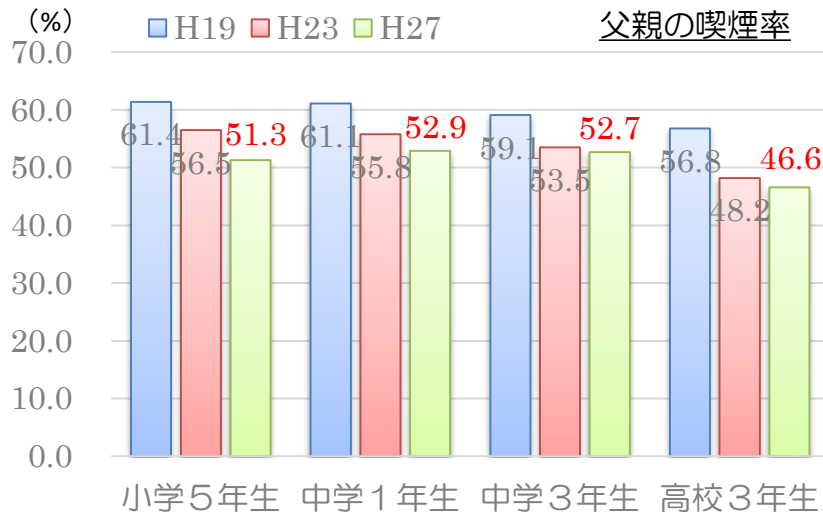
(受動喫煙防止対策を実施している割合)

■ H23 ■ H27

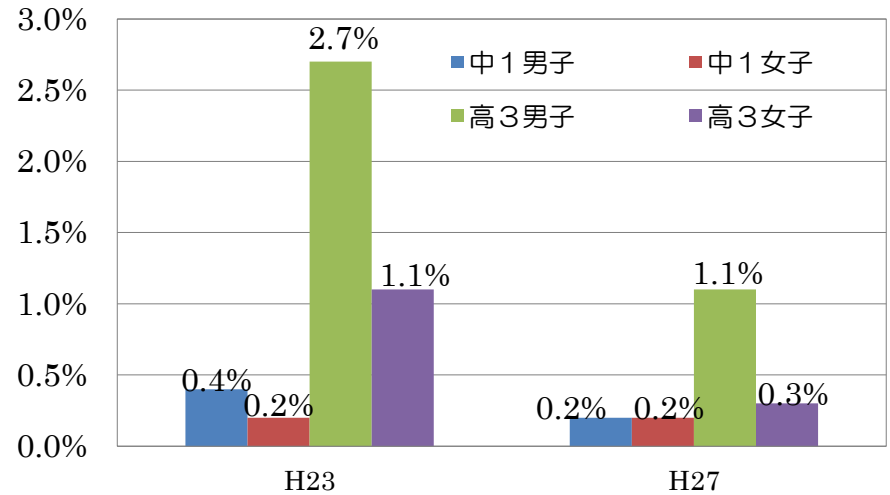




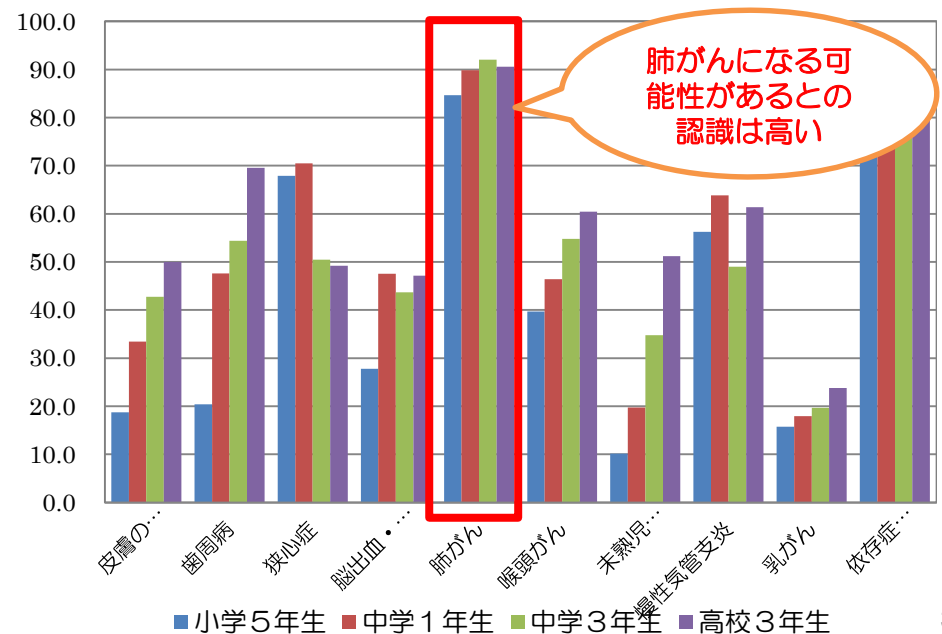
○青森県未成年者喫煙等実態調査



喫煙率



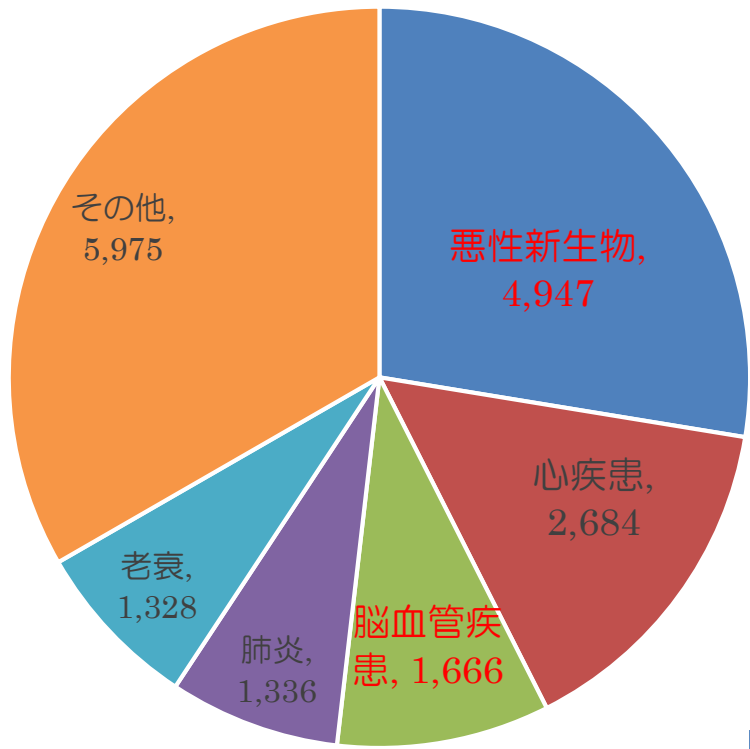
タバコと病気の関係の認識度





3 本県のがんによる死亡者数・死亡率

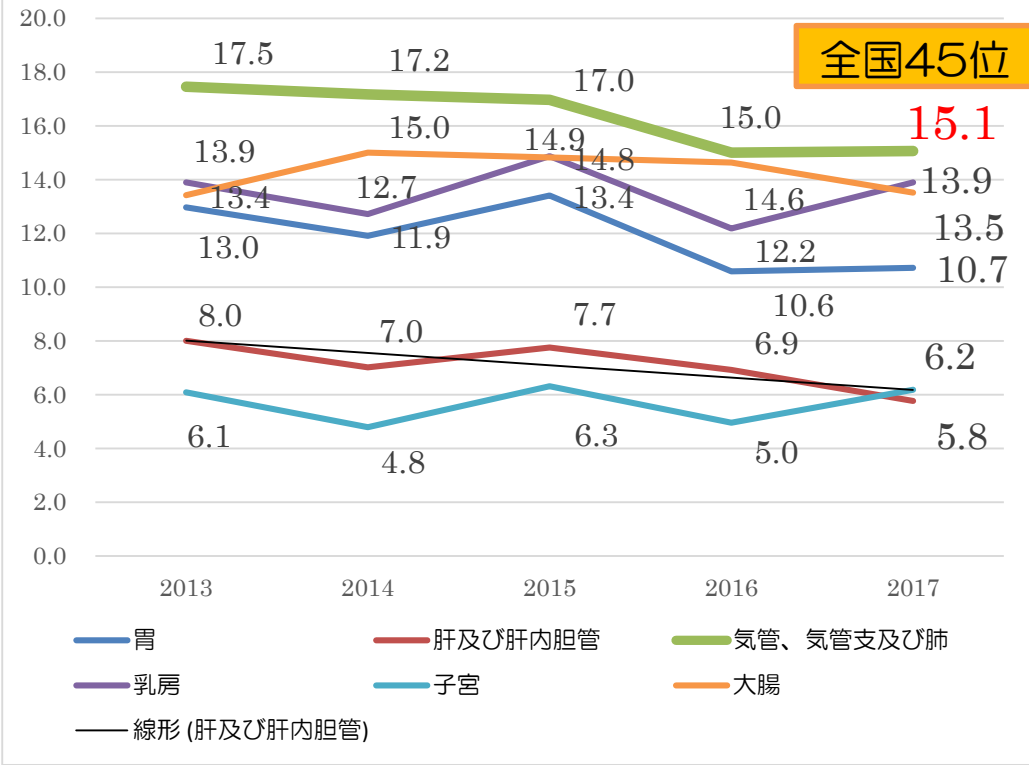
青森県の主な死因別死亡数と構成比



出典：平成30年人口動態統計（概数）

- 悪性新生物
- 心疾患
- 脳血管疾患
- 肺炎
- 老衰
- その他

がんの75歳未満年齢調整死亡率



	がん	脳血管疾患	心疾患
男性	126.5 (1位)	52.8 (1位)	76.8 (6位)
女性	71.8 (1位)	28.2 (3位)	36.6 (16位)

出典：がん→国立がん研究センター公表の平成27年の青森県のがん75歳未満年齢調整死亡率
 脳血管疾患、心疾患→平成29年度人口動態統計特殊報告における平成27年の青森県の年齢調整死亡率



4 改正健康増進法に係る県民・事業所の皆様への周知活動

通知・パンフレットによる周知		説明会等による周知	
県民だより（4月号）		県物産協会通常総会	代表者等 等々
青森商工かけはし（5月号）			
労働青森（5月号）			
協会けんぽ（8月号）			
県民だより（10月号）			
事業者説明会（6圏域）			

その他周知・講演会等	
青い森鉄道ラッピング電車 （8月1日～運行開始）	喫煙・受動喫煙防止対策講演会 講演者：産業医科大学 大和 浩 教授



ラッピング電車出発式（7月31日）

※国から通知があった場合には、随時、圏域保健所経由で市町村に通知するとともに、病院、児童福祉施設等へ通知し、周知を図っている。今後も改正法の円滑な施行に向け、積極的に周知啓発を図っていく。